

「さりげない心くばり」

校長 桐野 和之

「江戸しぐさ」という言葉があります。江戸時代、江戸の町の大部分は大名や旗本などの武士階級が使っていたため、一般庶民は下町の限られた場所に生活せざるをえませんでした。その数、六十万。「江戸しぐさ」とは、その狭く限られた空間の中で多くの庶民が生活することを通して磨き上げられた、自然で粹なマナーのことです。

例えば、狭い通りで人とすれ違う時、お互いがぶつからないように、さりげなく肩を反対側に引き合う「肩引き」。また、雨の日、お互いの傘からのしずくで相手が濡れることのないように、傘を人のいない方に傾ける「傘かしげ」。それらはいずれも、狭い空間であっても快適に生活する江戸庶民の生活の知恵であったわけです。しかし、私は、そういった生活の知恵であった以上に、「江戸しぐさ」のような行動は、今の日本にもあり、相手の立場に立って考え、行動できる、日本が世界に誇れる生活習慣、文化だと思っています。

今、学校教育の中で国際理解という課題が存在します。これはわかりやすく言えば、自分たちと異なる文化に対しても理解を深め、コミュニケーション能力を身につけることが大切だということです。もっと具体的に説明すれば、外国の生活習慣や歴史、そして、そこに住む人々のものの見方、考え方などを理解し、同時に、日本のことについてもきちんと伝えることができるようになることが、教育の一つのねらいだということです。そうすることで、はじめていろいろな国の人と仲良くすることができるということなのです。つまり、いくら英語が上手によく話せても、周りの人と仲良くするための心配りが示せないようでは、「国際性が豊か」とは言えないのです。



かつて、自分が生活していたマンションの自転車置き場であった出来事です。ある日、私は誤って自分の自転車を倒してしまい、前かごに入れておいたカバンも飛び出し落ちてしまいました。そうするとそれを見ていた多分同じマンションに住む、小学校5年生くらいの男の子が、何気なく私の所に近寄ってきて、「大丈夫ですか」と言いながら、カバンを拾ってくれたり、倒れた自転車を起こすことを手伝ってくれたりしました。あっという間の出来事だったのですが、驚きました。さりげない行動は、とても小学生には思えないくらいでした。

私はこの子のようなさりげない優しさ、自然な気配りこそが、国際社会に活躍できる人、国際性豊かな人になるために必要だと思っています。「江戸しぐさ」のような粹なマナーをしっかり身につけることが第一歩なのです。だからこそ、本校を、そんなマナーがしっかりと生きている学校にするために、皆さんとお互いに努力していきたいです。

「貫井中学校に赴任して」

第1学年 主任教諭 岩崎 陽 (国語)

四月に同じ区内の練馬東中から貫井中に異動して、約1ヶ月がたちました。もう30年以上この仕事をやっているのだから、だいたいの要領は分かっているものの、やはりところ変われば何とやらで、貫井中の流れに慣れるのに一生懸命の毎日です。



貫井中は生徒の挨拶も大変よく、気持ちよく過ごせる学校だと思います。生徒たちと共に、貫井中の一員として力を発揮していけるよう、頑張っていく所存です。

第2学年 非常勤教員 中村岳夫 (社会)

春休み中、貫井中の門をくぐると部活などで登校している生徒たちと出会う。すれちがう生徒たちからさわやかな声の挨拶がかえってくる。咲き始めた桜とともに貫井中の生活を後押ししてくれるかのように気持ちがあたたかくなった。あれからしばらくたったが、そのときの印象は変わらないままだ。この一期一会の縁を大切にこれからの貫井中の生活を悔いなく送っていこうと決意を新たにしている今日この頃である。

第3学年 主任教諭 佐藤 栄記 (国語)

区内の田柄中学校から異動してきました国語科の佐藤です。よろしくお祈いします。先ず感じたことは、年配の(ベテランの)男性教員が多いなことです。自分が平均年齢を引き上げているのですが、生徒たちにとってエネルギッシュな若手の男性教員が少ないのは寂しいと感じるのではないかと思います。しかし、そんな思いをさせないように体力・気力が続く限り、無理せずにパワフルな諸先生方と共に頑張りますので、ご支援・ご協力を賜れば幸いです。

第1学年 教諭 宮内貞幸 (数学)

10年ほど前に開進二中に8年間勤務していましたので、この地域に戻って来られたことをとても嬉しく感じています。職場体験のお願いにかけずり回った中村橋商店街や練馬美術館など本当に懐かしいものです。当時、サッカーやるなら貫井中よりグラウンドの広い開進二中だよとさんざん触れ回ってきたことが今となっては自分の首を絞めているようです。素直な貫井中の生徒たちと共に、一步一步前進していきたいと思っております。どうぞよろしくお祈いします。

第2学年 主幹教諭 東條貴史 (英語)

大泉第二中学校から異動してまいりました、英語科の東條貴史です。貫井中に赴任して最初に感じたことは、花壇がきれいなことです。色とりどりの花がきれいに咲いていました。手入れが行き届いている感じがしました。今年度野球部を立ち上げました。本校では40数年ぶりだそうです。他の教職員や地域・保護者の皆様の協力を得ながら、いい部活動を行い、貢献していきたいと思っております。

第1学年 教諭 小島 智恵 (社会)

練馬区にある大泉学園中学校から異動してきました小島智恵です。初めての異動ということもあり日々学校に慣れようと奮闘しているうちに、あっという間に一ヶ月が過ぎました。一年生の担任と社会科の授業で生徒と関わりますが、どの生徒もイキイキ楽しげに学校生活を送っていることが印象に残ります。生徒たちと共に学び、成長していきたいと考えています。よろしくお祈いします。



運動会練習始まる！！

運動会練習が本格化しています。5月15日の第5、第6校時は第1回目の全体練習が実施されました。練習は、応援リーダーによる整列指示、点呼が行われ、生徒たちが主体的に取り組む中で進んでいきました。入場行進の練習、開会式の流れの確認、応援席に移動する練習、準備運動の練習などが、ひとつひとついねいに確認を含めて進みました。生徒たちの元気な声や返事、きびきびとした行動が印象に残りました。この練習が第1回目の全体練習とは思えないくらい子どもたちはしっかり取り組んでいたことに感心しました。また、各軍団の運動会の応援目標が設定され、いよいよ運動会への気運は高まりつつあります。



運動会は6月3日（土）です。近隣の皆様には子どもたちの声やマイク等の音量で大変騒がしくなりますが、どうか生徒たちの頑張り、熱い思いに免じてご容赦ください。何卒よろしくお願いいたします。

今月の授業紹介① 第1学年理科

今日（4月24日）は第6校時に第二理科室で1年生の授業が行われていました。内容は顕微鏡の使い方を学ぼうでした。

初めに教室でガイダンスを行い、それから生徒たちは理科室にきました。授業の最初には、授業ルールについて話がされていました。モニターを活用しながら、失敗の事例にも触れ、実際に顕微鏡の使い方を学ぶ学習でした。まず、もの凄く小さく印字された数字の“5”を見ることから始めました。しかし、見ると逆さまに見えることを先生が指摘し、どのように顕微鏡を扱えばよいのか、生徒に考えさせながら授業が進んでいきました。また、実際にミジンコ、アメーバ、三日月藻などを顕微鏡で見ることを通じて顕微鏡の使い方の学習を深めていきました。さらに、先生は理科のスケッチ方法についても説明され、美術のスケッチとの違いにも触れました。楽しく顕微鏡で観察し、スケッチが進んでいく中で授業は終了しました。



特に今日はスケッチではなく、顕微鏡の使い方を中心に学ぶ授業で、子どもたちも顕微鏡を通じて見える世界に、興味津々でした。

全校道徳

5月19日（金）第1校時の道徳授業は全校生徒が体育館アリーナに集合し、「全校道徳」という形態で実施されました。

テーマは『世界の人々と、互いに認め合い、共に生きていくために、どんなことに心がけたら良いだろうか？』でした。全体の進行は道徳担当の安西先生が務め、授業が進められました。

授業のテーマにせまるためにまず、①どうしたら、世界中の人と「共に生きていく」ことができるかを各クラスのグループごとに話し合い考えをまとめました。また、②考えた際にどんな相手を想像したか。ワークシートに記してみました。さらに、③どんな相手でも「互いに認め合う」ためにはどのようにすれば良いのかを考えグループでまとめました。

授業はワークシートが活用され進んでいきましたが、生徒たちは各クラスのグループでの話し合いをしながら互いに考えを出し合いまとめました。回答を紹介します。

1、どうしたら、世界中の人と「共に生きていく」ことができる

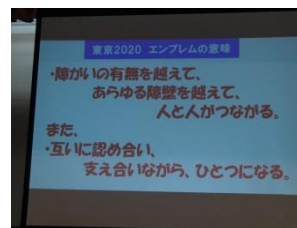


かの回答には、戦争などの争いが無いこと、認め合っていくこと、英語を学ぶことなどがありました。

2、考えた際に「どんな相手を想像したか」という問いに対して、さまざまな宗教の人、黒人、難民、海外の人等が出ました。

3、どんな相手でも「互いに認め合う」ためにはどのようにすれば良いのかについては、差別をなくす、その国の人々の長所を尊重する、国の文化を知る等の回答がありました。

今日の道徳授業はオリンピック・パラリンピック教育を通じて、特にボランティアマインドの醸成に結びつける発案で計画されました。また、6月10日（土）の道徳授業地区公開講座後に予定されるサインボーカリスト、水戸 真奈美さんの講演会の事前の学習という意味もありました。さらに、授業では2020東京オリンピック・パラリンピックのエンブレムに込められた想いも紹介されました。



～部活動の結果等～

<剣道部> 第三ブロック大会 (5/14 貫井中アリーナ)

※本校は男女とも合同チームで出場。



[男子団体]

1回戦 貫井・光二 4-0 日大二 2回戦 貫井・光二 1-4 田柄
都大会代表決定戦

1回戦 貫井・光二 3-1 練馬東 2回戦 貫井・光二 1-4 都富士附
*男子はあと一步で都大会出場を逃しました。

[女子団体] 貫井・石南 0-5 日大二

<卓球部> 練馬区春季大会 (4/29、5/3 貫井中アリーナ)



[男子団体] 1回戦 貫井 3-2 北町 2回戦 貫井 0-3 武蔵 (武蔵は優勝)

[男子ダブルス] ベスト16進出 (4回戦敗退) ・ベスト32進出 (3回戦敗退) ・1回戦敗退

[男子シングルス] ベスト32 (3回戦敗退) ・ベスト64 (2回戦敗退)

<柔道部> 東京都春季大会

[男子団体]

2回戦 貫井 4-1 立川二 3回戦 貫井 5-0 準々決勝 貫井 2-1 拝島
準決勝 貫井 0-4 八王子六 (都優勝校) 順位決定戦 貫井 1-4 足立学園

※貫井は男子団体第5位。

[女子団体]

2回戦 貫井 2-1 拝島 準々決勝 貫井 0-3 帝京 (都優勝校) 順位決定戦 貫井 0-3 藤村



<サッカー部> 夏季大会

予選リーグ 貫井 2-0 開進二 貫井 0-2 学附

<バスケットボール部> 春季第3ブロック大会

[男子] 貫井 68-59 阿佐ヶ谷 貫井 41-45 光一

[女子] 貫井 38-47 日大二



<陸上競技部> 都地域別西部地区陸上競技大会

・男子 走り高跳び 第1位 1m73cm 都総体、都通信進出 ・男子 110H 18秒00 都総体進出

<バドミントン部> 区春季大会

[男子団体] 貫井 0-2 練馬 [女子団体] 貫井 1-2 大二

[男子シングルス] ベスト16

[男子ダブルス] ベスト16

